野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド
Aコース／Bコース

運用報告書（全体版）

第27期（決算日2020年８月24日）

作成対象期間（2020年２月26日～2020年８月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
なお、当ファンドは、2020年５月15日に信託期間を延長する約款変更を行い、信託期間終了日は2026年８月24日となりましたので、ご留意下さい。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2006年８月28日から2026年８月24日までです。	
運用方針	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として世界のプレミアム・ブランド企業の株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。	
	実質組入外貨建て資産については、原則として、現地通貨による為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース／Bコース	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	世界のプレミアム・ブランド企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース／Bコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式（預託証書で株券などの性質を有するものならびに上場、登録予定を除く。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に原則として、繰越分を含めた配当等収益と売買益等から基準価額水準等を勘案して分配します。 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント
東京都江東区豊洲二丁目２番１号

サポートダイヤル　0120−753104
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時
ホームページ　http://www.nomura-am.co.jp/

＜Aコース＞

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率		期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
23期(2018年８月22日)	14,977	450	4.0	269.40	4.9	93.5	－	1,931
24期(2019年２月22日)	13,817	250	△ 6.1	256.67	△4.7	98.1	－	1,681
25期(2019年８月22日)	14,979	350	10.9	270.02	5.2	97.4	－	1,666
26期(2020年２月25日)	15,087	500	4.1	289.34	7.2	98.5	－	1,415
27期(2020年８月24日)	15,094	550	3.7	337.52	16.7	97.7	－	1,298

＊基準価額の騰落率は分配金込み。
＊当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

＊参考指数（＝MSCIワールド一般消費財・サービス指数（円ヘッジベース））は、MSCI World Consumer Discretionary Index（現地通貨ベース）をもとに、当社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。
＊MSCIワールド一般消費財・サービス指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
(出所：MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率		騰落率		
	円	%		%	%	%
(期　首) 2020年２月25日	15,087	－	289.34	－	98.5	－
２月末	14,024	△ 7.0	269.34	△ 6.9	95.4	－
３月末	12,455	△17.4	230.42	△20.4	92.4	－
４月末	13,427	△11.0	267.16	△ 7.7	92.7	－
５月末	14,265	△ 5.4	281.65	△ 2.7	99.1	－
６月末	14,383	△ 4.7	290.63	0.4	97.8	－
７月末	14,774	△ 2.1	311.15	7.5	97.7	－
(期　末) 2020年８月24日	15,644	3.7	337.52	16.7	97.7	－

＊期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
＊当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

＜Bコース＞

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率		期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
23期(2018年８月22日)	15,350	500	4.2	285.22	6.6	94.7	－	5,268
24期(2019年２月22日)	14,148	300	△5.9	274.79	△ 3.7	98.5	－	4,981
25期(2019年８月22日)	14,705	350	6.4	280.76	2.2	98.6	－	4,570
26期(2020年２月25日)	15,299	550	7.8	313.52	11.7	98.5	－	4,584
27期(2020年８月24日)	15,061	550	2.0	357.15	13.9	97.8	－	4,404

＊基準価額の騰落率は分配金込み。
＊当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

＊参考指数（＝MSCIワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース））は、MSCI World Consumer Discretionary Index（現地通貨ベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。
＊MSCIワールド一般消費財・サービス指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
(出所：MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率		騰落率		
(期　首)	円	%		%	%	%
2020年２月25日	15,299	－	313.52	－	98.5	－
２月末	14,127	△ 7.7	289.02	△ 7.8	95.5	－
３月末	12,349	△19.3	245.63	△21.7	93.1	－
４月末	13,055	△14.7	280.72	△10.5	94.3	－
５月末	14,058	△ 8.1	298.50	△ 4.8	98.6	－
６月末	14,278	△ 6.7	309.44	△ 1.3	97.1	－
７月末	14,620	△ 4.4	326.14	4.0	97.5	－
(期　末)						
2020年８月24日	15,611	2.0	357.15	13.9	97.8	－

＊期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
＊当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

＜Aコース＞

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移

期　首：15,087円
期　末：15,094円（既払分配金(税込み)：550円）
騰落率：　3.7%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2020年２月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（円ヘッジベース）です。参考指数は、作成期首（2020年２月25日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首15,087円から期末15,094円となりました。

（下落）２月は、中国での新型コロナウイルスの感染拡大を受け、アップルなどが企業業績に影響が出るとの警告を出したこと、その後感染地域が欧州や米国にまで拡がったこと
（下落）３月初め、新型コロナウイルスが世界的に感染拡大したこと、OPEC（石油輸出国機構）とロシアなどOPEC非加盟産油国の減産交渉決裂を受け原油価格が急落したこと、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、欧州や米国景気の先行き懸念が強まったこと
（上昇）３月下旬に米国で大型経済対策が成立したこと、FRB（米連邦準備制度理事会）による無制限の量的緩和策が決定されたこと、ドイツの大型経済対策の発表など欧州各国が財政・金融政策を打ち出したこと

＜Aコース＞

（下落）４月初めに３月の米雇用統計が市場予想を上回る悪化を示したこと
（上昇）４月中旬以降は、新型コロナウイルスの治療薬開発への期待が高まったこと、欧州や米国で経済活動の段階的な再開の動きが広がったこと、EU（欧州連合）の欧州委員会が7,500億ユーロの基金創設を柱とする復興計画案を公表したこと
（上昇）７月初めには、６月の雇用統計など市場予想以上の米経済指標が相次いで発表されたこと、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展が報道されたこと、８月に入り業績が好調なアップル株やテスラ株などへの買いが継続したこと

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIワールド一般消費財・サービス指数（円ヘッジベース）の16.7%の上昇に対し、基準価額は3.7%の上昇となりました。主な差異要因としては、非保有であった米国のオンライン小売会社の株価が市場を上回って推移したことや、保有していたアメリカン・エキスプレス株（米国、クレジットカード会社）が下落したことなどがマイナスの影響となりました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）

（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。
（注）参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（円ヘッジベース）です。

＜Aコース＞

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、１万口当たり550円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり・税込み）

項　　目	第27期 2020年２月26日～ 2020年８月24日
当期分配金	550
（対基準価額比率）	3.516%
当期の収益	550
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	5,093

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

＜Bコース＞

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移

期　首：15,299円
期　末：15,061円（既払分配金(税込み)：550円）
騰落率：　2.0%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2020年２月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース）です。参考指数は、作成期首（2020年２月25日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首15,299円から期末15,061円となりました。

（下落）２月は、中国での新型コロナウイルスの感染拡大を受け、アップルなどが企業業績に影響が出るとの警告を出したこと、その後感染地域が欧州や米国にまで拡がったこと
（下落）３月初め、新型コロナウイルスが世界的に感染拡大したこと、OPEC（石油輸出国機構）とロシアなどOPEC非加盟産油国の減産交渉決裂を受け原油価格が急落したこと、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、欧州や米国景気の先行き懸念が強まったこと、為替市場で対ドル、対ユーロで円高が進んだこと
（上昇）３月下旬に米国で大型経済対策が成立したこと、FRB（米連邦準備制度理事会）による無制限の量的緩和策が決定されたこと、ドイツの大型経済対策の発表など欧州各国が財政・金融政策を打ち出したこと、為替市場で対ドル、対ユーロで円安となったこと

＜Bコース＞

（下落）４月初めに３月の米雇用統計が市場予想を上回る悪化を示したこと、為替市場で対ドル、対ユーロで円高となったこと
（上昇）４月中旬以降は、新型コロナウイルスの治療薬開発への期待が高まったこと、欧州や米国で経済活動の段階的な再開の動きが広がったこと、EU（欧州連合）の欧州委員会が7,500億ユーロの基金創設を柱とする復興計画案を公表したこと
（上昇）７月初めには、６月の雇用統計など市場予想以上の米経済指標が相次いで発表されたこと、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展が報道されたこと、８月に入り業績が好調なアップル株やテスラ株などへの買いが継続したこと、為替市場で対ユーロで円安が進んだこと

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース）の13.9%の上昇に対し、基準価額は2.0%の上昇となりました。主な差異要因としては、非保有であった米国のオンライン小売会社の株価が市場を上回って推移したことや、保有していたアメリカン・エキスプレス株（米国、クレジットカード会社）が下落したことなどがマイナスの影響となりました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）

（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。
（注）参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース）です。

＜Bコース＞

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、１万口当たり550円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり・税込み）

項　　目	第27期 2020年２月26日～ 2020年８月24日
当期分配金	550
（対基準価額比率）	3.523%
当期の収益	318
当期の収益以外	231
翌期繰越分配対象額	5,061

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

＜Aコース／Bコース＞

○投資環境

世界株式市場は、新型コロナウイルスの実体経済に与える悪影響が懸念され下落する局面もありましたが、通期では、世界各国の主要中央銀行による緩和的な金融政策や新型コロナウイルス向けワクチンの開発期待などを背景に上昇となりました。また、為替市場では、円は対米ドルでは上昇（円高）、対ユーロでは下落（円安）となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

［野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Aコース］および［野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Bコース］は、主要投資対象である［野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド］受益証券を高位に組み入れました。

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

（１）主として世界のプレミアム・ブランド企業※の株式に投資してまいりました。

※プレミアム・ブランド企業とは、流行を創造するデザインや最高品質などに基づくブランド力により、消費者に幸福感、優越感などの感情をもたらすことができる商品・サービス（プレミアム・ブランド商品・サービス）を提供している企業を指します。

（２）銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選別を行い、高い成長が期待される企業の株式を選定してまいりました。

（３）個別銘柄の売買については、米国のアルコール飲料メーカーなどの株式を新規に買い付けたほか、アディダス（ドイツ、スポーツ用品メーカー）などの株式を買い増ししました。一方、米国のリゾート施設運営会社や米国のイベント会社などの株式を全株売却したほか、フランスの高級アクセサリー・アパレル会社や日本の化粧品・トイレタリーメーカーなどの株式を一部売却しました。

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Aコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Bコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

＜Aコース／Bコース＞

◎今後の運用方針

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド]

プレミアム・ブランド企業は、差別化された製品やサービス、ワンランク上の経験、質の高いライフスタイルを提供しています。こうした点は今後も相対的に高い成長をもたらす原動力になるものと考えます。また、こうしたプレミアム・ブランド企業は、健全な財務基盤を有し、高いキャッシュ・フロー創出力を有しています。

当ファンドは、プレミアム・ブランドとしての認知度が非常に高く、高品質かつ時代に左右されることのない、プレミアム・ブランド商品やサービスを提供する企業の中から、より高い売上・利益成長力や収益性、強固な財務基盤を有し、バリュエーション（投資価値評価）水準からも割安と判断される企業を厳選して投資を行う方針です。特に、最高品質の製品、類い希なるサービスを提供し、今日の消費市場で重要な鍵の一つであるデジタル戦略に十分取り組んでいる企業に注目しています。同時に、持続的な成長が可能か、また、高い収益性が実現できるかなどについても注目しています。

なお、2003年に感染が拡大したSARS（重症急性呼吸器症候群）発生時にも、プレミアム・ブランド企業の業績は一時的にマイナスの影響が出たものの、その後、需要は急回復しました。今回、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で世界的に厳しい封鎖措置がとられていたことなどから、プレミアム・ブランド企業の足元の売り上げや利益の悪化は避け難い状況です。しかし、そうした都市封鎖や移動制限などの措置が緩和されるにつれ、業績は徐々に改善に向かっていくと考えています。

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Aコース]

主要投資対象である［野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド］受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Bコース]

主要投資対象である［野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド］受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

＜Aコース＞

○１万口当たりの費用明細

（2020年２月26日～2020年８月24日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	128	0.925	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(68)	(0.490)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（販売会社）	(53)	(0.381)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（受託会社）	(8)	(0.054)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	4	0.029	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(4)	(0.029)	
(c) 有価証券取引税	3	0.020	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(3)	(0.020)	
(d) その他費用	6	0.042	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(6)	(0.040)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	141	1.016	
期中の平均基準価額は、13,888円です。			

＊期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
＊各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
＊売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
＊各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

＜Aコース＞

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.95％です。

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

＜Aコース＞

○売買及び取引の状況

（2020年２月26日～2020年８月24日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド	25,473	67,400	78,784	217,056

＊単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

（2020年２月26日～2020年８月24日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	3,315,528千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,190,841千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	0.63

＊(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2020年２月26日～2020年８月24日）

利害関係人との取引状況

＜野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Aコース＞

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	2,866	216	7.5	2,789	136	4.9

＜Aコース＞

＜野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド＞

区　　分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	1,432	－	－	1,882	15	0.8
為替直物取引	439	88	20.0	822	465	56.6

平均保有割合　23.5%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項　　目	当　　期
売買委託手数料総額（A）	374千円
うち利害関係人への支払額（B）	5千円
（B）／（A）	1.6%

＊売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

（2020年８月24日現在）

親投資信託残高

銘　　柄	期首(前期末)	当　期　末	
	口　数	口　数	評　価　額
	千口	千口	千円
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド	492,876	439,565	1,282,915

＊口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

＜Aコース＞

○投資信託財産の構成

（2020年８月24日現在）

項　　目	当　期　末	
	評　価　額	比　率
	千円	%
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド	1,282,915	93.6
コール・ローン等、その他	88,133	6.4
投資信託財産総額	1,371,048	100.0

＊金額の単位未満は切り捨て。
＊野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（5,566,020千円）の投資信託財産総額（5,919,219千円）に対する比率は94.0%です。
＊外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=105.80円、1英ポンド=138.51円、1スイスフラン=115.97円、1デンマーククローネ=16.77円、1ユーロ=124.80円、1香港ドル=13.65円、1シンガポールドル=77.14円、1豪ドル=75.80円、1ランド=6.17円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2020年８月24日現在）

項　　目	当 期 末
	円
(A)　資産	2,597,935,440
コール・ローン等	10,938,344
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド(評価額)	1,282,915,100
未収入金	1,304,081,996
(B)　負債	1,299,788,885
未払金	1,233,990,929
未払収益分配金	47,302,993
未払解約金	6,801,083
未払信託報酬	11,673,335
未払利息	12
その他未払費用	20,533
(C)　純資産総額（Ａ－Ｂ）	1,298,146,555
元本	860,054,419
次期繰越損益金	438,092,136
(D)　受益権総口数	860,054,419口
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	15,094円

（注）期首元本額は938,204,767円、期中追加設定元本額は33,223,750円、期中一部解約元本額は111,374,098円、１口当たり純資産額は1.5094円です。
（注）投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額18,526,453円。（野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド）

○損益の状況

（2020年２月26日～2020年８月24日）

項　　目	当　期
	円
(A)　配当等収益	△　2,375
支払利息	△　2,375
(B)　有価証券売買損益	60,072,657
売買益	113,202,222
売買損	△ 53,129,565
(C)　信託報酬等	△ 11,699,808
(D)　当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	48,370,474
(E)　前期繰越損益金	51,273,244
(F)　追加信託差損益金	385,751,411
（配当等相当額）	(283,405,630)
（売買損益相当額）	(102,345,781)
(G)　計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	485,395,129
(H)　収益分配金	△ 47,302,993
次期繰越損益金（Ｇ＋Ｈ）	438,092,136
追加信託差損益金	385,751,411
（配当等相当額）	(283,449,808)
（売買損益相当額）	(102,301,603)
分配準備積立金	52,340,725

＊損益の状況の中で(B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
＊損益の状況の中で(C)**信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
＊損益の状況の中で(F)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

＜Aコース＞

（注）分配金の計算過程（2020年２月26日～2020年８月24日）は以下の通りです。

項　　目	当　　期 2020年２月26日～ 2020年８月24日
a. 配当等収益(経費控除後)	4,711,944円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	43,658,530円
c. 信託約款に定める収益調整金	385,751,411円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	51,273,244円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	485,395,129円
f. 分配対象収益(１万口当たり)	5,643円
g. 分配金	47,302,993円
h. 分配金(１万口当たり)	550円

○分配金のお知らせ

１万口当たり分配金（税込み）	550円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

信託期間を５年更新し、信託期間終了日を2026年８月24日とする所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2020年５月15日＞

＜Bコース＞

○１万口当たりの費用明細

（2020年２月26日～2020年８月24日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	127	0.925	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(67)	(0.490)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（販売会社）	(52)	(0.381)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（受託会社）	(7)	(0.054)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	4	0.030	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(4)	(0.030)	
(c) 有価証券取引税	3	0.020	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(3)	(0.020)	
(d) その他費用	6	0.042	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(6)	(0.040)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	140	1.017	
期中の平均基準価額は、13,747円です。			

＊期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
＊各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
＊売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
＊各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

＜Bコース＞

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.95％です。

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

＜Bコース＞

○売買及び取引の状況

（2020年２月26日～2020年８月24日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド	54,174	149,000	156,886	434,785

＊単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

（2020年２月26日～2020年８月24日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	3,315,528千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,190,841千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	0.63

＊(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2020年２月26日～2020年８月24日）

利害関係人との取引状況

＜野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Bコース＞

該当事項はございません。

＜野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド＞

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	1,432	－	－	1,882	15	0.8
為替直物取引	439	88	20.0	822	465	56.6

平均保有割合　76.5%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

＜Bコース＞

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項　　目	当　　期
売買委託手数料総額（A）	1,225千円
うち利害関係人への支払額（B）	19千円
（B）／（A）	1.6%

＊売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

（2020年８月24日現在）

親投資信託残高

銘　　柄	期首(前期末)	当　期　末	
	口　数	口　数	評　価　額
	千口	千口	千円
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド	1,596,400	1,493,688	4,359,478

＊口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2020年８月24日現在）

項　　目	当　期　末	
	評　価　額	比　率
	千円	%
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド	4,359,478	94.6
コール・ローン等、その他	248,447	5.4
投資信託財産総額	4,607,925	100.0

＊金額の単位未満は切り捨て。
＊野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（5,566,020千円）の投資信託財産総額（5,919,219千円）に対する比率は94.0%です。
＊外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=105.80円、1英ポンド=138.51円、1スイスフラン=115.97円、1デンマーククローネ=16.77円、1ユーロ=124.80円、1香港ドル=13.65円、1シンガポールドル=77.14円、1豪ドル=75.80円、1ランド=6.17円。

＜Bコース＞

○資産、負債、元本及び基準価額の状況　(2020年８月24日現在)

項　　目	当期末
	円
(A) 資産	4,607,925,638
コール・ローン等	40,147,124
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド(評価額)	4,359,478,514
未収入金	208,300,000
(B) 負債	203,016,430
未払収益分配金	160,858,261
未払解約金	4,142,015
未払信託報酬	37,949,202
未払利息	45
その他未払費用	66,907
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	4,404,909,208
元本	2,924,695,667
次期繰越損益金	1,480,213,541
(D) 受益権総口数	2,924,695,667口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	15,061円

(注) 期首元本額は2,996,242,972円、期中追加設定元本額は119,096,299円、期中一部解約元本額は190,643,604円、１口当たり純資産額は1.5061円です。
(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額18,526,453円。(野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　マザーファンド)

○損益の状況　(2020年２月26日～2020年８月24日)

項　　目	当　期
	円
(A) 配当等収益	△ 7,141
支払利息	△ 7,141
(B) 有価証券売買損益	131,038,734
売買益	144,719,874
売買損	△ 13,681,140
(C) 信託報酬等	△ 38,016,109
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	93,015,484
(E) 前期繰越損益金	416,252,417
(F) 追加信託差損益金	1,131,803,901
(配当等相当額)	(805,388,129)
(売買損益相当額)	(326,415,772)
(G) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)	1,641,071,802
(H) 収益分配金	△ 160,858,261
次期繰越損益金(Ｇ＋Ｈ)	1,480,213,541
追加信託差損益金	1,131,803,901
(配当等相当額)	(805,533,069)
(売買損益相当額)	(326,270,832)
分配準備積立金	348,409,640

＊損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
＊損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
＊損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2020年２月26日～2020年８月24日) は以下の通りです。

項　　目	当　期 2020年２月26日～ 2020年８月24日
a. 配当等収益(経費控除後)	14,116,191円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	78,899,293円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,131,803,901円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	416,252,417円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	1,641,071,802円
f. 分配対象収益(１万口当たり)	5,611円
g. 分配金	160,858,261円
h. 分配金(１万口当たり)	550円

＜Bコース＞

○分配金のお知らせ

１万口当たり分配金（税込み）	550円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

信託期間を５年更新し、信託期間終了日を2026年８月24日とする所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2020年５月15日＞

野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド
マザーファンド

運用報告書

第14期（決算日2020年８月24日）

作成対象期間（2019年８月23日～2020年８月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。
主な投資対象	世界のプレミアム・ブランド企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式（預託証書で株券などの性質を有するものならびに上場、登録予定を除く。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント
東京都江東区豊洲二丁目２番１号

http://www.nomura-am.co.jp/

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	参考指数	期中騰落率	株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	円	%		%	%	%	百万円
10期(2016年８月22日)	17,420	△20.3	190.63	△11.8	96.0	－	5,867
11期(2017年８月22日)	21,668	24.4	233.10	22.3	98.7	－	5,915
12期(2018年８月22日)	25,675	18.5	285.22	22.4	95.2	－	7,131
13期(2019年８月22日)	26,179	2.0	280.76	△ 1.6	99.0	－	6,192
14期(2020年８月24日)	29,186	11.5	357.15	27.2	98.9	－	5,642

＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

＊参考指数（＝MSCIワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース））は、MSCI World Consumer Discretionary Index（現地通貨ベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。
＊MSCIワールド一般消費財・サービス指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
(出所：MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	株式組入比率	株式先物比率
	円	%		%	%	%
(期　首) 2019年８月22日	26,179	－	280.76	－	99.0	－
８月末	26,212	0.1	281.47	0.3	97.7	－
９月末	26,246	0.3	288.08	2.6	98.1	－
10月末	27,347	4.5	300.10	6.9	99.0	－
11月末	28,221	7.8	306.73	9.2	98.5	－
12月末	29,248	11.7	315.56	12.4	99.1	－
2020年１月末	28,744	9.8	309.90	10.4	98.8	－
２月末	26,183	0.0	289.02	2.9	96.7	－
３月末	22,893	△12.6	245.63	△12.5	93.7	－
４月末	24,245	△ 7.4	280.72	△ 0.0	94.8	－
５月末	26,156	△ 0.1	298.50	6.3	99.1	－
６月末	26,609	1.6	309.44	10.2	97.1	－
７月末	27,289	4.2	326.14	16.2	97.7	－
(期　末) 2020年８月24日	29,186	11.5	357.15	27.2	98.9	－

＊騰落率は期首比です。
＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移

【基準価額等の推移】
（2019年８月23日～2020年８月24日）

（注）参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首26,179円から期末29,186円となりました。

（下落）2019年９月は、FOMC（米連邦公開市場委員会）で追加利下げが決定されたものの、今後の政策金利の行方について市場の見方が分かれたこと、ユーロ圏およびドイツの９月PMI（購買担当者景気指数）が低下したこと、米トランプ大統領への弾劾調査が正式に開始されると発表されたこと

（上昇）10月は、米中貿易協議への期待が高まったこと、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱懸念が後退したこと、為替市場で対ユーロで円安となったこと

（上昇）11月は、米中貿易協議が部分的な合意に至るとの期待が高まったこと、10月の米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想を上回って増加したこと、英国のEU離脱に対する楽観的な見方が広がったこと

（上昇）12月は、米中貿易協議が第１段階の合意に近づいているとの観測が高まったこと、英総選挙で与党保守党が勝利したこと

（下落）2020年１月は、2019年12月の米ISM製造業景況指数が悪化したこと、中国での新型コロナウイルスの感染拡大を受けて世界経済への悪影響が意識されたこと

（下落）２月は、中国での新型コロナウイルスの感染拡大を受け、アップルなどが企業業績に影響が出るとの警告を出したこと、その後感染地域が欧州や米国にまで拡がったこと
（下落）３月初め、新型コロナウイルスが世界的に感染拡大したこと、OPEC（石油輸出国機構）とロシアなどOPEC非加盟産油国の減産交渉決裂を受け原油価格が急落したこと、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、欧州や米国景気の先行き懸念が強まったこと、為替市場で対ドル、対ユーロで円高が進んだこと
（上昇）３月下旬に米国で大型経済対策が成立したこと、FRB（米連邦準備制度理事会）による無制限の量的緩和策が決定されたこと、ドイツの大型経済対策の発表など欧州各国が財政・金融政策を打ち出したこと、為替市場で対ドル、対ユーロで円安となったこと
（下落）４月初めに３月の米雇用統計が市場予想を上回る悪化を示したこと、為替市場で対ドル、対ユーロで円高となったこと
（上昇）４月中旬以降は、新型コロナウイルスの治療薬開発への期待が高まったこと、欧州や米国で経済活動の段階的な再開の動きが広がったこと、EUの欧州委員会が7,500億ユーロの基金創設を柱とする復興計画案を公表したこと
（上昇）７月初めには、６月の雇用統計など市場予想以上の米経済指標が相次いで発表されたこと、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展が報道されたこと、８月に入り、業績が好調なアップル株やテスラ株などへの買いが継続したこと、為替市場で対ユーロで円安が進んだこと

○投資環境

世界株式市場は、期の前半は米中貿易摩擦やFRBの金融政策の行方に左右される展開、後半は、新型コロナウイルスの実体経済に与える悪影響が懸念され下落する局面もありましたが、通期では、世界各国の主要中央銀行による緩和的な金融政策や新型コロナウイルス向けワクチンの開発期待などを背景に上昇となりました。また、為替市場では、円は対米ドルで上昇（円高）、対ユーロに対しては下落（円安）となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

前回の運用方針をもとに当期間は以下のような運用を行いました。

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

（１）主として世界のプレミアム・ブランド企業※の株式に投資してまいりました。

※プレミアム・ブランド企業とは、流行を創造するデザインや最高品質などに基づくブランド力により、消費者に幸福感、優越感などの感情をもたらすことができる商品・サービス（プレミアム・ブランド商品・サービス）を提供している企業を指します。

（２）銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選別を行い、高い成長が期待される企業の株式を選定してまいりました。

（３）個別銘柄の売買については、米国のホテルやリゾート運営持株会社や、米国のアルコール飲料メーカーなどの株式を新規に購入したほか、アディダス（ドイツ、スポーツ用品メーカー）などの株式を買い増ししました。一方で、フランスの加工食品会社や米国のオンライン旅行会社などの株式を全売却したほか、米国のクレジットカード会社や日本の化粧品・トイレタリーメーカーなどの株式を一部売却しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークを設けておりません。コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース）の27.2%の上昇に対し、基準価額は11.5%の上昇となりました。主な差異要因としては、非保有であった米国のオンライン小売会社の株価が市場を上回って推移したことや、保有していたアメリカン・エキスプレス株（米国、クレジットカード会社）が下落したことなどがマイナスの影響となりました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）

（注）参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

プレミアム・ブランド企業は、差別化された製品やサービス、ワンランク上の経験、質の高いライフスタイルを提供しています。こうした点は今後も相対的に高い成長をもたらす原動力になるものと考えます。また、こうしたプレミアム・ブランド企業は、健全な財務基盤を有し、高いキャッシュ・フロー創出力を有しています。

当ファンドは、プレミアム・ブランドとしての認知度が非常に高く、高品質かつ時代に左右されることのない、プレミアム・ブランド商品やサービスを提供する企業の中から、より高い売上・利益成長力や収益性、強固な財務基盤を有し、バリュエーション（投資価値評価）水準からも割安と判断される企業を厳選して投資を行う方針です。特に、最高品質の製品、類い希なるサービスを提供し、今日の消費市場で重要な鍵の一つであるデジタル戦略に十分取り組んでいる企業に注目しています。同時に、持続的な成長が可能か、また、高い収益性が実現できるかなどについても注目しています。

なお、2003年に感染が拡大したSARS（重症急性呼吸器症候群）発生時にも、プレミアム・ブランド企業の業績は一時的にマイナスの影響が出たものの、その後、需要は急回復しました。今回、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で世界的に厳しい封鎖措置がとられていたことなどから、プレミアム・ブランド企業の足元の売り上げや利益の悪化は避け難い状況です。しかし、そうした都市封鎖や移動制限などの措置が緩和されるにつれ、業績は徐々に改善に向かっていくと考えています。

○１万口当たりの費用明細

（2019年８月23日～2020年８月24日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 売買委託手数料	13	0.048	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(13)	(0.048)	
(b) 有価証券取引税	9	0.034	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(9)	(0.034)	
(c) その他費用	20	0.076	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(20)	(0.076)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	42	0.158	
期中の平均基準価額は、26,616円です。			

＊各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
＊各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年８月23日～2020年８月24日)

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
国内	上場	千株 11	千円 94,364	千株 23	千円 154,981
外国	アメリカ	百株 1,569 (　－)	千米ドル 15,850 (△　13)	百株 1,542	千米ドル 19,454
	イギリス	263	千英ポンド 763	182	千英ポンド 496
	スイス	0.55 (　－)	千スイスフラン 405 (△　4)	86	千スイスフラン 1,519
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	70	1,157	94	705
	イタリア	1,094	2,449	275	1,552
	フランス	203	3,439	659	8,980
	オランダ	－	－	449	376
	香港	1,110	千香港ドル 1,782	375	千香港ドル 424
	オーストラリア	－	千豪ドル －	823	千豪ドル 1,464

＊金額は受け渡し代金。
＊単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。
＊(　)内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2019年８月23日～2020年８月24日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	6,850,902千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,766,884千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	1.18

＊(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2019年８月23日～2020年８月24日）

利害関係人との取引状況

区　　分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	2,829	7	0.2	4,021	86	2.1
為替直物取引	650	88	13.5	1,827	481	26.3

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項　　目	当　　期
売買委託手数料総額（A）	2,802千円
うち利害関係人への支払額（B）	155千円
（B）／（A）	5.6%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

（2020年８月24日現在）

国内株式

銘　　柄		期首(前期末)	当　期　末	
		株　数	株　数	評　価　額
		千株	千株	千円
化学（100.0%）				
資生堂		22.8	10.7	62,081
合　計	株数・金額	22.8	10.7	62,081
	銘柄数＜比率＞	1	1	＜1.1%＞

＊各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。
＊銘柄欄の（　）内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
＊評価額欄の＜　＞内は、純資産総額に対する評価額の比率。
＊評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
AMERICAN EXPRESS CO		202	233	2,243	237,389	消費者金融
APPLE INC		98	63	3,138	332,064	コンピュータ・周辺機器
BOOKING HOLDINGS INC		8	—	—	—	インターネット販売・通信販売
BRIGHT HORIZONS FAMILY SOLUT		59	—	—	—	各種消費者サービス
BROWN-FORMAN CORP-CL B		—	221	1,596	168,917	飲料
FARFETCH LTD-CLASS A		149	—	—	—	インターネット販売・通信販売
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN		—	232	2,032	215,080	ホテル・レストラン・レジャー
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A		86	127	2,649	280,275	パーソナル用品
LEVI STRAUSS&CO.-CLASS A		79	—	—	—	繊維・アパレル・贅沢品
LIVE NATION ENTERTAINMENT IN		124	—	—	—	娯楽
LULULEMON ATHLETICA INC		42	46	1,703	180,243	繊維・アパレル・贅沢品
MARRIOTT INTERNATIONAL-CLA		180	184	1,754	185,675	ホテル・レストラン・レジャー
NEW ORIENTAL EDUCATION-SP ADR		58	—	—	—	各種消費者サービス
NIKE INC-B		338	307	3,375	357,148	繊維・アパレル・贅沢品
STARBUCKS CORP		184	240	1,853	196,120	ホテル・レストラン・レジャー
TAL EDUCATION GROUP-ADR		91	—	—	—	各種消費者サービス
TESLA INC		22	14	2,892	306,028	自動車
TIFFANY & CO		31	—	—	—	専門小売り
V F CORP		136	301	1,859	196,733	繊維・アパレル・贅沢品
VAIL RESORTS INC		49	—	—	—	ホテル・レストラン・レジャー
VISA INC-CLASS A SHARES		193	92	1,886	199,555	情報技術サービス
GARMIN LTD		—	101	1,037	109,812	家庭用耐久財
小計	株数・金額	2,139	2,166	28,024	2,965,044	
	銘柄数<比率>	19	13	—	<52.5%>	
(イギリス)				千英ポンド		
DIAGEO PLC		425	506	1,311	181,698	飲料
小計	株数・金額	425	506	1,311	181,698	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<3.2%>	
(スイス)				千スイスフラン		
CHOCOLADEFABRIKEN LINDT-PC		1	1	941	109,193	食品
CIE FINANCIERE RICHEMONT-BR A		166	80	470	54,599	繊維・アパレル・贅沢品
小計	株数・金額	167	81	1,412	163,792	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<2.9%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
ADIDAS AG		49	87	2,271	283,475	繊維・アパレル・贅沢品
PUMA SE		171	109	758	94,663	繊維・アパレル・贅沢品
小計	株数・金額	221	197	3,029	378,139	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<6.7%>	
(ユーロ…イタリア)						
BRUNELLO CUCINELLI SPA		123	155	392	48,954	繊維・アパレル・贅沢品
FERRARI NV		101	114	1,882	234,922	自動車
MONCLER SPA		145	196	630	78,684	繊維・アパレル・贅沢品
小計	株数・金額	370	467	2,905	362,561	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<6.4%>	
(ユーロ…フランス)						
LOREAL-ORD		124	83	2,284	285,152	パーソナル用品
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE		54	51	1,997	249,227	繊維・アパレル・贅沢品
PERNOD RICARD SA		182	125	1,802	224,941	飲料
REMY COINTREAU		81	32	451	56,329	飲料
HERMES INTERNATIONAL		25	19	1,397	174,383	繊維・アパレル・贅沢品
KERING SA		26	26	1,296	161,831	繊維・アパレル・贅沢品
ACCOR SA		101	—	—	—	ホテル・レストラン・レジャー

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…フランス)		百株	百株	千ユーロ	千円	
ESSILORLUXOTTICA		159	151	1,655	206,646	繊維・アパレル・贅沢品
ORPEA		61	－	－	－	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
DANONE		202	－	－	－	食品
SMCP S.A.S.		199	271	105	13,224	専門小売り
小計	株数・金額	1,219	762	10,991	1,371,735	
	銘柄数＜比率＞	11	8	－	＜24.3%＞	
(ユーロ…オランダ)						
DAVIDE CAMPARI-MIRANO NV		－	272	232	29,020	飲料
小計	株数・金額	－	272	232	29,020	
	銘柄数＜比率＞	－	1	－	＜0.5%＞	
ユーロ計	株数・金額	1,810	1,700	17,159	2,141,456	
	銘柄数＜比率＞	16	14	－	＜38.0%＞	
(香港)				千香港ドル		
L OCCITANE INTERNATIONAL SA		2,937	3,672	4,649	63,464	パーソナル用品
小計	株数・金額	2,937	3,672	4,649	63,464	
	銘柄数＜比率＞	1	1	－	＜1.1%＞	
(オーストラリア)				千豪ドル		
TREASURY WINE ESTATES LTD		823	－	－	－	飲料
小計	株数・金額	823	－	－	－	
	銘柄数＜比率＞	1	－	－	＜－%＞	
合計	株数・金額	8,304	8,127	－	5,515,456	
	銘柄数＜比率＞	40	31	－	＜97.7%＞	

＊邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
＊邦貨換算金額欄の＜　＞内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
＊株数・評価額の単位未満は切り捨て。
＊銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

（2020年８月24日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	5,577,537	94.2
コール・ローン等、その他	341,682	5.8
投資信託財産総額	5,919,219	100.0

＊金額の単位未満は切り捨て。
＊当期末における外貨建て純資産（5,566,020千円）の投資信託財産総額（5,919,219千円）に対する比率は94.0%です。
＊外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=105.80円、1英ポンド=138.51円、1スイスフラン=115.97円、1デンマーククローネ=16.77円、1ユーロ=124.80円、1香港ドル=13.65円、1シンガポールドル=77.14円、1豪ドル=75.80円、1ランド=6.17円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況　(2020年８月24日現在)

項　　目	当期末
	円
(A) 資産	5,926,144,284
コール・ローン等	310,296,803
株式(評価額)	5,577,537,535
未収入金	33,235,811
未収配当金	5,074,135
(B) 負債	283,725,331
未払金	6,925,000
未払解約金	276,800,000
未払利息	331
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	5,642,418,953
元本	1,933,253,483
次期繰越損益金	3,709,165,470
(D) 受益権総口数	1,933,253,483口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	29,186円

(注) 期首元本額は2,365,280,097円、期中追加設定元本額は218,466,273円、期中一部解約元本額は650,492,887円、１口当たり純資産額は2.9186円です。
(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
・野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Bコース　1,493,688,246円
・野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド　Aコース　439,565,237円

○損益の状況　(2019年８月23日～2020年８月24日)

項　　目	当　期
	円
(A) 配当等収益	57,220,049
受取配当金	57,340,013
受取利息	195,931
支払利息	△ 315,895
(B) 有価証券売買損益	643,354,647
売買益	1,376,627,415
売買損	△ 733,272,768
(C) 保管費用等	△ 4,467,668
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	696,107,028
(E) 前期繰越損益金	3,826,743,828
(F) 追加信託差損益金	380,833,727
(G) 解約差損益金	△1,194,519,113
(H) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ＋Ｇ)	3,709,165,470
次期繰越損益金(Ｈ)	3,709,165,470

＊損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
＊損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
＊損益の状況の中で**(G)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

（2020年8月24日現在）

年　月	日
2020年８月	31
９月	10
10月	－
11月	－
12月	25、28

※2020年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。
したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。
なお、弊社ホームページ（http://www.nomura-am.co.jp/）にも掲載いたしております。